

# 輝け☆沖盲の宝



**新年あけましておめでとうございます。3学期も笑顔でがんばりましょう。**

2019年平成31年がスタートしました。「平成最後の〇〇」という会話があちらこちらで交わされています。ご家庭でも新しい年の初めと新元号の発表に希望を輝かせていることでしょう。校庭の桜のつぼみも膨らみ、小学部の教材園には収穫間近のジャガイモが栽培され、寒さの中にも春の訪れや収穫の楽しみがあります。始業式では、各学部代表が今年の抱負を発表してくれました。小学部の松田さんは「目標を宣言



【↑小1 愛司さんの書き初め】します」と自分の時計で時間を確認し、今できることを考えて行動すること、毎日の勉強を続けることを力強く宣言し、【↑仲良し中学部】中学部の糸数さんは早寝早起きと整理整頓をしっかり行いたいこと。専攻科の具志さんは30代最後の年ということで座右の銘を披露し、専攻科の難しい勉強と外来治療を頑張ることを発表していました。3名の発表は頼もしく感じました。年の初めらしく、新年の記念撮影や書き初めに取り組む学級、幼小学部では旧暦行事の鬼餅(モチ)作りを行ったりと、その様子は今年も元気に楽しく頑張る姿勢が伝わりました。また、版画コンクールや全国特別支援学校文化祭受賞と中学



部の宮城さんがピアノ独奏で26日(土)に開催予定の全琉音楽祭出演への決定報告もありました。詳細は次回の校長通信をお楽しみに。小中学部では居住地校交流も行われており、具志川中学校では黒板いっぱい書かれた「りおん、おかえり!」の文字に感動しました。



【↑健康を折ってモチ作り。美味しいな】インフルエンザが大流行していますので気をつけてください。【↑黒板の文字】

## NEWS ☆☆☆☆☆ NEWS ☆☆☆☆☆ NEWS ☆☆☆☆☆ NEWS

今回の校長通信は、年末年始の児童生徒会活動や地域の方々との交流他をご紹介します。児童生徒会活動の一環で「音の出る信号機を送ろう」の募金活動が校内外で行われ、ラジオ沖縄を通して「ラジオチャリティミュージックソン」へ全額寄付することができました。また、南風原町商工会青年部の皆さんが「はえばる 2018 ふるさと博覧会」へ出展した収益金でクリスマスケーキと金一封の寄付や沖縄工業高校建築家3年生が校舎立体模型を贈呈していただく等、その善意に感謝します。

【ラジオ沖縄の生放送に笑顔で出演】



マックスハブ  
日橋店前と  
校内の募金を  
合わせて総額  
¥105,343を  
寄付しました



【クリスマスケーキ等の寄贈】美味しいケーキをありがとうございます。はえるん↓



【沖縄工業高校建築家3年生作製の校舎立体模型贈呈式】



←校舎のイメージができて嬉しい。



高等部には普通科と専攻科があります。普通科3年生は卒業後の進路先決定に向けて、生徒自身の興味関心や好きなこと、やりたいこと等、本人の思いを大事にし、そして、保護者の願いを共有して、丁寧に進路先を検討しています。今月も就業体験を頑張っています。また、学校でも自立活動や作業学習等で、生徒の実態に応じた学習が展開されています。専攻科には、あん摩鍼灸師の国家資格試験受験に向けた保健医療に関する専門科目が設定され、3学期になると、3年生は2月下旬の試験に向けた授業が中心となり、2年生が外来治療を担当します。

**【産業教育フェアで冲盲自慢のあんまコーナー】**



↑多くの方が来場し、肩を中心としたマッサージ（施術）↑が行われました。本校の自慢はもう一つあり、外来治療です。保護者の皆様にもぜひ、外来治療を受診する事をおすすめします。（\*^o^\*）杉山神社の国家資格試験の合格祈願お守りです。→→専攻科3年生の合格祈願！



**【高等部就業体験と授業の様子】**

前期就業体験の様子ですが、雛妃香さんも千里さん他、3年生は就業体験を頑張っています。（すびかさん→）



千里さん →

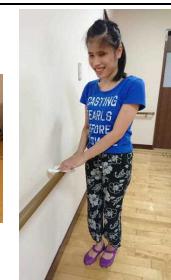


↑広夢さんも笑顔で作業学習の勉強をしています。自立活動室には手で触る教材教具がたくさんあり、手で物に触れることは大事な勉強です。



寄宿舎では1月15日（火）～28日（月）の間、在校生の入舎募集期間となっています。日常生活指導（衣食住等、自立と社会参加）や学習保障など、異年齢の集団生活の中で学びがたくさんあります。舎生同士の交流や余暇活動、お手伝いや行事の取組などで生きる力が育ちます。

**【楽しい寄宿舎】** ↓歌ったり、踊ったり↓和気あいあい。↓たいたみやミシがけ、掃除もこの通り→



↓笑顔で頑張ります。

↑「自分でできることが増えたね。」↑→

**【余暇活動】**

↓お寿司屋さんやカフェで歌ったり↓食事したり、運動場や体育館で運動↓もします。

時には、↓先輩の愛情マッサージも。



**【障害児等療育支援事業】**

今年度から南部療育医療センターの先生方にお越しいただき、幼児児童の身体や学習環境に関わる指導助言を受けております。

（←↑小2 ぶんたさん）今回は理学療法士（PT）の山田先生から幼稚部2名小学部1名が助言をいただきました。（↑幼稚部のらんさん↑）

